



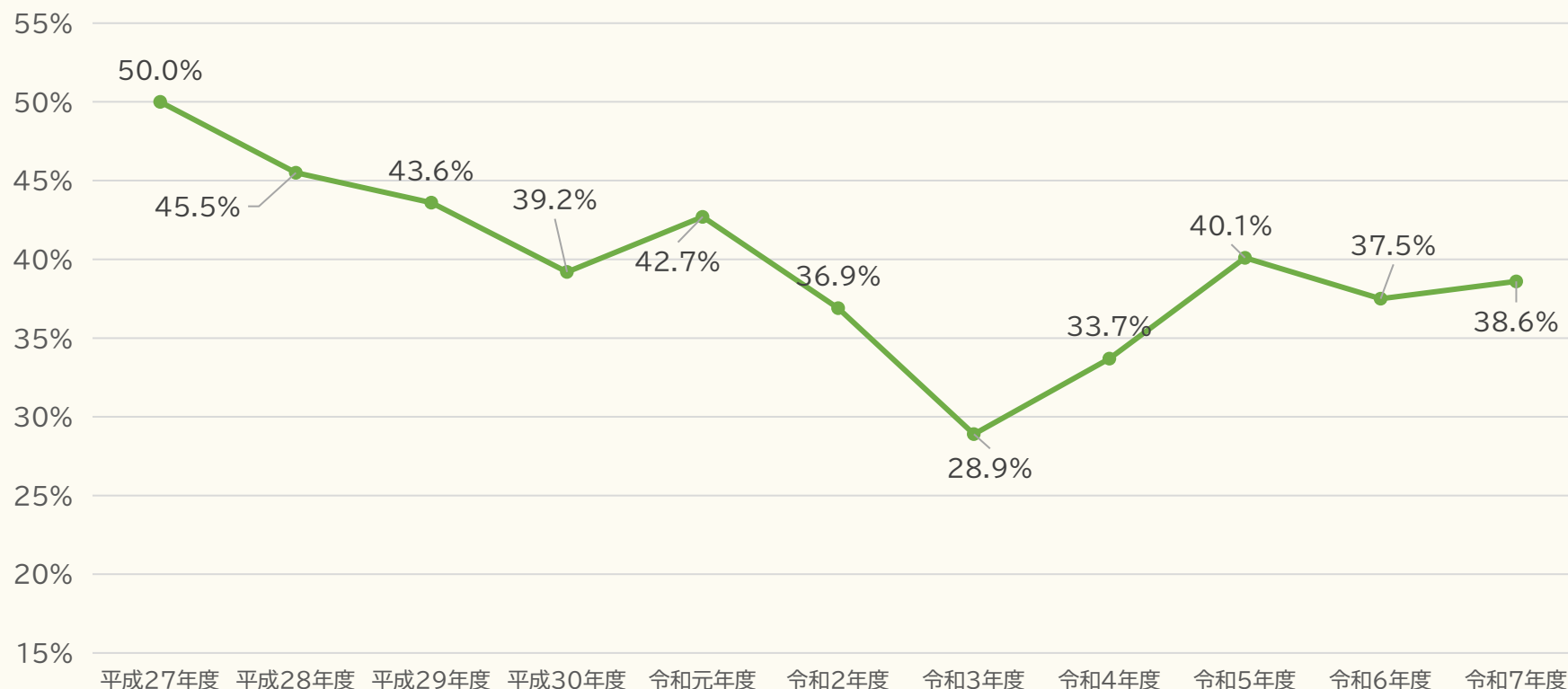
第2章

これまでの取組の成果

1 指標の達成状況

八王子市の前基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」では、「定期的に文化芸術に触れている市民の割合」を令和4年度（2022年度）までに60%とすることを目標としていましたが、達成できませんでした。新型コロナウイルスの影響もありましたが、市民アンケートを実施したところ、文化芸術イベントに参加するうえで「イベントの開催場所（近所で行われるかなど）」を重視する傾向があることもわかりました。これらのことから、第2期八王子市文化芸術ビジョンでは文化施設だけでなく、広場や公園といった身近な場所で、気軽に文化芸術に触れることができるようにするなど、様々な施策を通じて文化芸術がさらに身近なものとなるよう取り組んでいきます。

定期的に文化芸術に触れている市民の割合（半年に1回以上）



市政世論調査より

2 「八王子市文化芸術ビジョン」方向性ごとの取組実績



前計画の「八王子市文化芸術ビジョン」では、

「ささえる」

「そだてる」

「つたえる」

「こたえる」

「とどける」

の5つの方向性に沿って様々な取組を展開してきました。

これまでの取組実績は次のとおりです。

(1) ささえる

基本方針

施策の方向性

取組例

創る・演じるを「フキフキ」

1
新たに
創作活動を行う
「きっかけ」の提供

(1) 入門講座やワークショップの実施

(2) 新たに文化芸術活動を行いたい人と団体・サークル等とのマッチングや情報提供

2
創作活動の成果を
「披露する機会」の
提供

(1) 市民や文化団体が市と連携して行う文化イベントの実施

(2) 高齢者や障害者が出演・出展する文化イベントの実施

(3) アーティストバンクの活用とネットワークの強化

3
創作活動を行い
披露する「場」の
提供

(1) 市民会館(J:COM ホール八王子)、芸術文化会館(いちようホール)、南大沢文化会館の管理・運営

(2) 教育施設などの文化芸術活動の場としての活用

「八王子市文化芸術ビジョン」(第1期)における主な取組実績

1 新たに創作活動を行う「きっかけ」の提供

(1) 入門講座やワークショップの実施

- ・ 演劇ネットワークぱちぱちでは、演劇初心者や興味がある人向けに体験や活動の場を提供しています。
- ・ 伝統文化ふれあい事業では、子どもなどを対象に伝統文化に触れられる機会を提供しています。
- ・ 芸術文化会館(いちようホール)では、初心者も参加しやすい茶道や生け花の教室を開講しています。



演劇ネットワークぱちぱち

(2) 新たに文化芸術活動を行いたい人と団体・サークル等とのマッチングや情報提供

八王子リカレント教育支援アプリ「はちリカ」や八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」では、文化芸術をはじめ様々な分野の講座情報や団体・サークル等の情報を発信しています。



八王子リカレント教育支援アプリ「はちリカ」

2 創作活動の成果を「披露する機会」の提供

(1) 市民や文化団体が市と連携して行う文化イベントの実施

八王子市民文化祭では市民による文化芸術活動の成果を発表する場と鑑賞機会を提供しています。



八王子市民文化祭
美術工芸展

(2) 高齢者や障害者が出演・出展する文化イベントの実施

障害者文化展では、障害者による文化芸術活動の成果を発表する場と、鑑賞機会を提供しています。



障害者文化展

(3) アーティストバンクの活用とネットワークの強化

(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団のホームページにアーティストバンクの情報を掲載するとともに、登録したアーティストが学校へのアウトリーチ事業などに参加しています。



小学校へのアウトリーチ事業

3 創作活動を行い披露する「場」の提供

(1) 市民会館(J:COM ホール八王子)、芸術文化会館(いちようホール)、南大沢文化会館の管理・運営

文化施設の管理運営に精通した、指定管理者による、効果的・効率的な管理運営が行われています。



市民会館(J:COMホール八王子)

(2) 教育施設などの文化芸術活動の場としての活用

芸術文化会館(いちようホール)や南大沢文化会館でのロビーコンサートのほか、駅前の商業施設の催事スペースでロビーコンサートを実施するなど、文化施設だけでなく、身近な場所で発表機会を提供しました。



商業施設でのロビーコンサート

(2) そだてる

基本方針

施策の方向性

取組例

未来に向けて「そだてる」

1

子どもたちが
多彩な文化芸術に
「触れる」機会の
提供

(1) 子どもたちや親子で参加
しやすいコンサートや教室
の実施

(2) 芸術家やオーケストラによる
学校でのワークショップ・
コンサートの実施

2

子どもたちが
創作活動を
「披露する」機会の
提供

(1) 子どもたちや学生が
出品・演奏する展覧会・
コンサートの実施

(2) 子どもたちや学生が
気軽に文化施設を利用できる
仕組みづくり

3

歴史や伝統文化を
次世代に「保存・
継承する」取組の
実施

(1) 八王子車人形など
伝統文化の公演や
体験講座の実施

(2) 「新八王子市史」
の編さん

(3) 国史跡八王子城跡
の整備

「八王子市文化芸術ビジョン」(第1期)における主な取組実績

1 子どもたちが多彩な文化芸術に「触れる」機会の提供

(1) 子どもたちや親子で参加しやすいコンサート・教室の実施

- ・ 子ども体験塾「トイ♪トイ オーケストラ!」では、子どもたちにオーケストラによる生演奏の迫力を体感してもらうほか、楽器演奏や指揮者体験などのプログラムを通じ、音楽への興味や豊かな感性を育む機会を提供しています。
- ・ 南大沢ダンスワークショップでは、小中学生を対象に、大学のダンスサークルの学生、OBを講師として、通年のスクールを開講しています。また、発表会を行い、成果を披露しています。



トイ♪トイ オーケストラ!



南大沢ダンスワークショップ

(2) 芸術家やオーケストラによる学校でのワークショップ・コンサートの実施

アウトリーチ事業では、学校に向いてアーティストによる演奏や演劇のワークショップを行っています。また、車人形の体験ワークショップを行い八王子の伝統文化に触れる機会を提供しています。



アウトリーチコンサートでの指揮者体験

2 子どもたちが創作活動を「披露する」機会の提供

(1) 子どもたちや学生が出品・演奏する展覧会・コンサートの実施

八王子市民文化祭において、市内中学校の生徒の作品を展示する中学生絵画展を開催しています。令和7年度(2025年度)は、21校が参加し、219作品を展示しました。



八王子市民文化祭
中学生絵画展

(2) 子どもたちや学生が気軽に文化施設を利用できる仕組みづくり

夢美術館では、子どもでも親しむことができる絵本に関連する展示や、子ども向けの体験スペースを設けるなど、子どもが気軽に文化施設を訪れられるような展示を行いました。



夢美術館での子どもでも楽しめる特別展

3 歴史や伝統文化を次世代に「保存・継承する」取組の実施

(1) 八王子車人形など伝統文化の公演や体験講座の実施

伝統文化ふれあい事業では、子どもたちでも伝統文化に親しむことができる機会を創出するとともに、練習の成果を発表する機会を設けています。



八王子車人形の体験講座

(2) 「新八王子市史」の編さん

八王子市制100周年を記念し、平成19年(2007年)から平成29年(2017年)にかけて新八王子市史を編さんしました。



新八王子市史

(3) 国史跡八王子城跡の整備

平成30年(2018年)2月に「国指定史跡八王子城跡保存整備基本構想・基本計画」を策定し、八王子城跡の整備を進めています。



八王子城跡

(3) つたえる

基本方針

施策の方向性

取組例

良さ・楽しさを「つたえる」

1

効果的な
「情報の発信」

(1) ホームページやSNS
による情報発信

(2) 文化芸術に関する
情報紙の作成

2

八王子の
文化芸術活動の
「国内外への発信」

(1) 国内外の都市間
の文化芸術交流の実施

(2) 郷土資料館や夢美術館
の研究成果の提供

3

より魅力ある
「事業の実施」

(1) 一流のプロデューサーとの
連携による事業の実施

(2) 大学などとの連携による
新たな価値を持った事業の実施

「八王子市文化芸術ビジョン」(第1期)における主な取組実績

1 効果的な「情報の発信」

(1) ホームページやSNSによる情報発信

「八王子芸術祭」や「八王子ユースオーケストラ」、「演劇ネットワークぱちぱち」といった事業は、特設ホームページを開設しており、より深く事業について知ってもらえるよう、情報発信を行っています。

(2) 文化芸術に関する情報紙の作成

(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団では、文化芸術事業に関する情報誌「ラ♪ラ♪」や「ラ♪ラ♪MAGAZINE(現在はオンライン版のみ)」を発行し、その魅力を発信しています。



情報誌ラ♪ラ♪



ラ♪ラ♪MAGAZINE

2 八王子の文化芸術活動の「国内外への発信」

(1) 国内外の都市間の文化芸術交流の実施

八王子まつりにおける、台湾 高雄市のパフォーマンス団によるパフォーマンスや、海外友好交流都市写真展の開催など、文化芸術を通じた都市間交流を行っています。



台湾 高雄市のパフォーマンス団

(2) 郷土資料館や夢美術館の研究成果の提供

桑都日本遺産センター 八王子博物館(はちはく)では、日本遺産認定ストーリー「霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」の魅力を発信するとともに、養蚕で栄えた桑都・八王子の歴史文化を紹介する企画展示を行っています。



桑都日本遺産センター八王子博物館(はちはく)

3 より魅力ある「事業の実施」

(1) 一流のプロデューサーとの連携による事業の実施

小学生から25歳まで幅広い年齢の若者が参加できる「八王子ユースオーケストラ」は、幅広く活躍する音楽監督をはじめ、一流の講師陣とともに地域に愛されるオーケストラを目指し活動しています。



八王子ユースオーケストラ

(2) 大学などとの連携による新たな価値を持った事業の実施

- ・「桑都・八王子の持続可能な観光」に向け、若年層の日本遺産ストーリーへの関心を高めるため、産学官が連携し、「桑都・八王子クイズすごろく」などの親子体験ツールを開発したほか、親子参加型のイベントを開催しました。
- ・ 拓殖大学、NPO法人八王子城跡三ッ鱗会、市の文化財課の官民学の三者連携プロジェクト「八王子城跡の魅力高めるデザインプロジェクト」として、「高尾山のケーブルカーのランチクロス」を作成しました。



上 「日本遺産サポーター大学」に登録された帝京大学

左 拓殖大学との連携により作成したランチクロス

(4) こたえる

基本方針

施策の方向性

取組例

観たい・聴きたいに「こたえる」

1
舞台芸術や美術品の「鑑賞事業」の実施

(1) 著名なアーティスト・オーケストラによるコンサートや舞踏、演劇などの実施

(2) 夢美術館での展覧会の実施

2
郷土資料を「公開する」事業の実施

(1) 郷土資料館での企画展の実施

(2) 郷土資料館での体験学習の実施

3
鑑賞・見学できる「場」の提供

(1) 市民会館(J:COMホール八王子)、芸術文化会館(いちようホール)、南大沢文化会館、夢美術館、郷土資料館の管理・運営

(2) 郷土資料などを気軽に見学できる、新たな郷土資料館の整備

「八王子市文化芸術ビジョン」(第1期)における主な取組実績

1 舞台芸術や美術品の「鑑賞事業」の実施

(1) 著名なアーティスト・オーケストラによるコンサートや舞踏、演劇などの実施

市民会館(J:COMホール八王子)では、年間を通じて様々なアーティストやオーケストラなどによる公演が行われています。



東京交響楽団による公演

(2) 夢美術館での展覧会の実施

夢美術館では年間を通じて特別展を開催し、美術作品の鑑賞機会を提供しています。



夢美術館での展示

2 郷土資料を「公開する」事業の実施

(1) 郷土資料館での企画展の実施

郷土資料館の休館にともない、中心市街地の商業施設内に桑都日本遺産センター 八王子博物館(はちはく)を開館しました。同館では、定期的に企画展を実施しています。



桑都日本遺産センター八王子博物館(はちはく)での企画展

(2) 郷土資料館での体験学習の実施

桑都日本遺産センター 八王子博物館(はちはく)では、八王子車人形や機織りを常時体験できます。また、むかしあそびの体験やワークショップなども定期的に実施しています。



桑都日本遺産センター八王子博物館(はちはく)での八王子車人形体験

3 鑑賞・見学できる「場」の提供

(1) 市民会館(J:COMホール八王子)、芸術文化会館(いちようホール)、南大沢文化会館、夢美術館、郷土資料館の管理・運営

芸術文化会館(いちようホール)は、より快適に利用できる施設とするために、大規模改修工事を実施し、令和7年(2025年)7月にリニューアルオープンしました。



芸術文化会館(いちようホール)

(2) 郷土資料などを気軽に見学できる、新たな郷土資料館の整備

令和8年(2026年)10月のオープンに向け整備を進めている八王子駅南口の八王子中央公園(桑都の杜)に、歴史・郷土ミュージアムが新たにオープンする予定です。



歴史・郷土ミュージアムのイメージ図

(5) とどける

基本方針

施策の方向性

取組例

まちに、身近に「ミュージアム」

1

「まちなか」での文化イベントや展示の実施

(1) まちなかでの音楽やアート作品に触れることのできるイベントの開催

(2) まちなかでのアーティストの演奏・演技

(3) 市内各所に設置している彫刻の維持管理

2

「店舗や福祉施設」などでの文化イベントの実施

(1) 飲食店などの商店と連携した音楽やアートイベントの実施

(2) 福祉施設などへのアウトリーチの実施

「八王子市文化芸術ビジョン」(第1期)における主な取組実績

1 「まちなか」での文化イベントや展示の実施

(1) まちなかでの音楽やアート作品に触れることのできるイベントの開催

八王子芸術祭は、市街地の文化施設ではなく、地域に出向いて文化芸術事業を展開するイベントです。令和7年度(2025年度)は、中野・大和田・小宮・石川地域を舞台に美術作品の展示や演劇などの事業を実施しました。



八王子芸術祭の展示の様子

(2) まちなかでのアーティストの演奏・演技

多摩伝統文化フェスティバル(伝承のたまてばこ)では、中心市街地で、八王子や多摩地域に伝わる伝統文化、芸能に触れる機会を提供しています。



中町公園での芸妓衆による公演

(3) 市内各所に設置している彫刻の維持管理

彫刻の美観を保つ適切な維持管理を行うとともに、市内各所に設置している特性を活かし、街歩きを通じた謎解きイベントのチェックポイントの一つとして協力しました。



八王子市役所前の彫刻

2 「店舗や福祉施設」などでの文化イベントの実施

(1) 飲食店などの商店と連携した音楽やアートイベントの実施

八王子芸術祭では、公共施設だけでなく地域の商業施設を舞台にイベントを実施したほか、カフェなどでも美術作品の展示を行いました。八王子芸術祭終了後も、一部店舗では美術作品の展示及び販売を継続しています。



カフェでの作品展示

(2) 福祉施設などへのアウトリーチの実施

八王子市心身障害者福祉センターでは、江戸千家による茶道教室をはじめ、書道や絵画などの教室を実施しています。



八王子市心身障害者福祉センターでの茶道教室

市民力が紡いだレガシー 「ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール」

20世紀最高のチェリストの一人でもあるガスパール・カサドの名を冠した国際コンクール。カサドの妻でもあった日本人ピアニスト故・原智恵子さんの主宰によりカサド没後10回までイタリア、フィレンツェ市で開催しましたが、後継者に恵まれず途絶えてしまいました。日本での開催を夢見つつ亡くなった原智恵子さんの遺志は、市民の有志たちによって引き継がれ、八王子で開催されました。

国際コンクールの開催

有志の市民がゼロから始めた手作りのコンクールは、ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会を中心に、平成18年(2006年)の第1回から、平成25年(2013年東日本大震災により延期)まで、3年ごとに3回開催し、平成22年(2010年)には、世界の著名なコンクールが名を連ねる「国際音楽コンクール世界連盟」に加盟するまでになりました。コンクールは、毎回30か国近い国から延べ394名の出場応募があり、入場者は11,385名に及び、多くの市民が若きチェリストたちが奏でる音色を堪能しました。



第3回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール本選
(現J:COM ホール八王子にて)



ユーロードにはフラッグを
掲出して演出

質の高い音楽を身近に

国際チェロコンクールの開催だけでなく、アーティストが市内小中学校を訪問してコンサートを開催する「アウトリーチコンサート」やまちなかでのチェロの演奏体験など、生活の中で質の高い音楽に触れる機会の創出を数多く行うことで、文化芸術を一層身近にすることに大いに貢献しました。



学校でのアウトリーチ
コンサート



いちようまつりでの
チェロ演奏体験

国際コンクールのレガシーは 現在も息づいて

本コンクール開催にあたっては、ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会をはじめ、延べ623名にも及ぶボランティアスタッフなどの本市の強力な市民力や企業等の支援により、3回のコンクールを成功裏に終えました。残念ながら、第3回平成25年(2013年)の開催が最後となっていますが、多くの市民の手により紡がれた国際コンクールのレガシーは、文化芸術事業の運営ボランティアなど、現在にまで受け継がれています。